

道徳教育全体計画

玉野市立玉野商工高等学校

諸法規

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・教育諸法規
- ・学習指導要領

保護者の願い

心と身体が健康で、他者と良好な関係を築くと共に、充実した学校生活を送り自己実現してほしい。

各教科・科目

| |
|---|
| 表現力・理解力・想像力を養成し、互いの立場や考え方を尊重しながら伝え合う力を養う。 |
| 社会に貢献できる公民として求められる知識や判断力、価値観を持ち、国際社会に主体的に寄与できる日本人としての資質を養う。 |
| 数学的活動を通して、事象を論理的に考察し表現する力を養い、道徳的判断力を育成する。 |
| 自然の事物・現象を探究する活動を通して、生命を尊重する態度や、道徳的判断力を育成する。 |
| 健康や安全についての知識を持ち、各種の運動の実践を通して、公正、協力、参画などに対する態度の育成に資する。 |
| 芸術を愛好する心情を育て芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことにより道徳性の基盤を育成する。 |
| 外国語の学習を通じて、言語への関心を持ち、異文化を理解するとともにコミュニケーション能力の育成を図る。 |
| 生活習慣を身につけ勤労の意義を理解し、家庭や社会の一員としての生き方を考えさせる。 |
| 高度情報化社会における情報モラルの重要性を学び、それを実践する態度を養う。 |
| 機械技術者や機械技能者として必要な知識と技術を学び、それを実践できる能力と態度を育成する。 |
| 職業人として必要な法令遵守やビジネスマナーの重要性を学び、それを実践できる能力と態度を育成する。 |

校訓

誇り ゆとり 粘り

学校の教育目標

地域と共にCoCoLo（こころ）を育て、地域に貢献する人財を育成する
CoCoLo（こころ）の教育=Communication(人間力) × Collaboration(実践力) × Logical think(論理的思考力)

道徳教育重点目標

- ・基本的生活習慣を身につけ、健康で健全な身体と心を育む。
- ・多様な人間性を理解し、他者を敬う気持ちを持ち、自分の考えを正しく相手に伝えることができるとともに、他者と協働しよりよい人間関係を築く態度を育む。

各学年の重点目標

| 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を身につけさせ、集団での規範意識とマナー、感謝の気持ちを身につける。 ・個性を尊重する人物の育成を目指す。 ・社会貢献活動の意義について理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中堅学年として最終学年に向けて、よりよい人間関係を築けるよう、自覚を持ち、礼儀とマナーの大切さを心がける。 ・情報モラルの育成 ・地域社会への貢献活動を通して自己肯定感を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生き方を主体的に選択するための進路指導の充実を図る。 ・規範意識を育て、社会の一員としての自己の在り方生き方を探究させる。 ・社会貢献活動をとおして自己実現を図る。 |

キッズビジネスタウンたまの

- ・「キッズビジネスタウンたまの」を道徳教育推進の柱と位置づける。
- ・小中学生、保護者、地域の方を対象にして、ブース運営を通して、生徒が主体的に取り組み、CoCoLo（こころ）を育てる。

キャリア教育（総合的な探究の時間）

- インターンシップ、企業見学会、工場見学会の実施
 - ・各種企業現場での体験実習や見学を行い、職業意識を高める。
- マナー礼法指導
 - ・外部講師を招聘し、社会人としてのマナーを身につけさせる。
 - ・年間、数回実施することで社会人としての必要なマナーを学び、規範意識を持たせる。
- 面接指導
 - ・進路指導課と連携を図り、面接指導を通してコミュニケーション能力を育成する。

特別活動

- ホームルーム活動
 - ・各学年・各クラスの目標設定
 - ・HR委員・風紀委員を中心とした学年単位での活動等を通じて自治的習慣、主体性、人間関係を築く力などを養う。
- 生徒会活動
 - ・生徒会執行部・各種委員会が中心となった諸活動で、自治的な習慣や愛校心、自立心・自律性を培う。
- 学校行事
 - ・学校生活の充実と発展に資する、「スポーツデー」や「雄心祭（文化祭・体育祭）」などの体験的な活動を通じて、生徒一人ひとりの集団への寄与やリーダーとしての資質を養うとともに、学校や地域を愛する心を育てる。

生徒の実態

- ・素直で明るい。
- ・地元に愛着を持つ生徒が多い。
- ・自己分析が不十分。
- ・人間関係づくりがやや苦手。
- ・受動的で積極性に乏しい。
- ・学習習慣が身につけていない。

地域の実態

- ・教育資源が豊か。
- ・ボランティアや学習活動等で地域との連携が強い。
- ・市内の中学生在が減少しているため定員割れをしている。

生徒指導

- ・未来手帳「玉野商工高等学校 生徒の心得」を基準として、全教職員の共通理解を図り、保護者や地域、関係諸機関と連携して、集団の中での規範意識やマナー、安全に対する意識の醸成を図る。
- ・朝の挨拶運動や交通指導、定期的な頭髪服装指導等により基本的生活習慣を確立させる。
- ・自転車二重ロック運動
- ・生徒会挨拶運動
- ・交通マナー講演会
- ・薬物乱用防止、携帯スマホ教室

家庭との連携

- ・PTA総会などを通じて、道徳教育の目標の周知を図ると共に家庭の協力を仰いでその達成に努める。
- ・PTA会報・学年通信などに道徳的内容を盛り込み、家庭での道徳心の啓発に努める。
- ・公開授業週間、雄心祭（体育祭・文化祭）などのイベントを通してPTAの連携を図る。

地域社会との連携

- ・生徒の「豊かな心」を育成するため、地域の自然・社会・文化に直接触れたり感動を覚えたりするような体験学習を展開する。
- ・ボランティア活動などを通して、異世代、異校種間の交流を深める。
- ・瀬戸内国際芸術祭
- ・たまの港フェスティバル
- ・玉野スチューデントプログラム
- ・山陽新聞レディースカップ
- ・渋川ビーチスポーツ